Pioneer

DVD プレーヤー

DV-2020







DVD ビデオのリージョンナンバー

DVD プレーヤーとDVD ビデオには発売地域ごとにリージョンナンバー(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVD ビデオディスクは、リージョンナンバーの違いにより再生できないことがあります。本機のリージョンナンバーは「2」です。

再生できるDVD ビデオのリージョンナンバー表示の例: 2 ALL 1 2 4 など

インターネットによる登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。

上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

RW COMPATIBLE

取扱説明書

もくじ

❶ 安全上のご注意

❷ 準備する

❸ 接続する

❹ 各部の名前とはたらき

❺ 再生する

❻ 設定を変更する

❼ 再生できるディスク /ファイル

❽ その他

安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



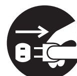
●記号は行動を強制したり指示したりする内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

 警告

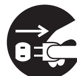
異常時の処置



万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災･感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。


放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、ラックなどに入れるときはすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。


着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境


この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。


風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。


この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法


本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。


ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。


本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。


本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。


電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。


雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



注意

設置


電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。


電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。


ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。


本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

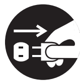

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。


本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。


本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）


電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。


電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。


移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。


本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。



窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。



本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用方法



ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。



レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。



長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。



お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

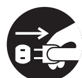


旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

保守・点検



5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

注意

この製品は、レーザ製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

D58-5-2-2a_A1_Ja

クラス 1 レーザ製品

準備する

付属品を確認する

- リモコン
- オーディオ・ビデオケーブル
- 単 4 形乾電池（R3）× 2
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

リモコンに電池を入れる

● **裏ぶたを開けて、電池を入れてください。**



警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前など、高温になる場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。



メモ

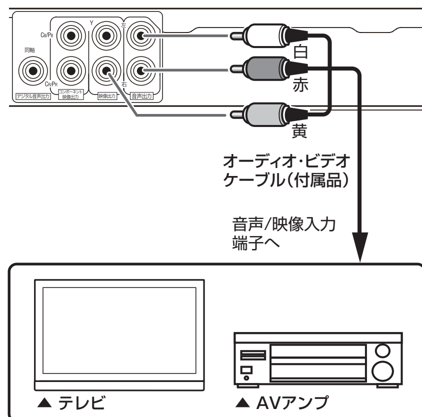
- 電池を入れるときに、リモコンの－極にあるバネを壊さないように注意してください。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池をリモコンに入れる場合、極性表示（＋極と－極）に注意し、表示どおりに入れてください。
- 電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）に従って処理してください。

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

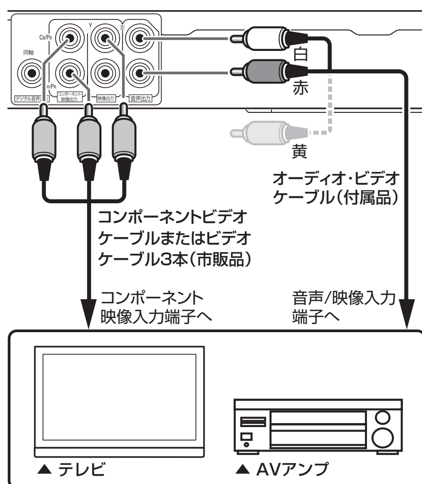
付属のオーディオ・ビデオケーブルを使って接続する

本体背面部



コンポーネントビデオケーブルを使って接続する

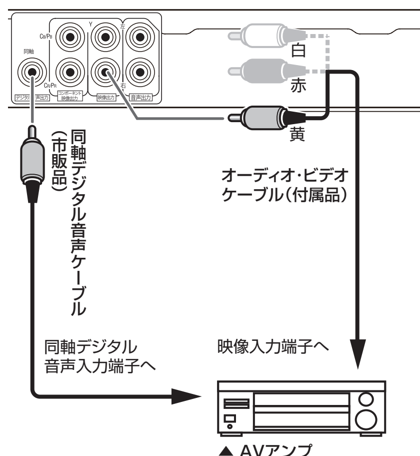
本体背面部



デジタル音声ケーブルを使って接続する

- **デジタル音声出力**端子にドルビーデジタル、または DTS 音声に対応している AV アンプなどを接続します。
- 初期設定で、AV アンプが対応している音声に設定してください（10 ページ）。
- AV アンプとテレビ、および AV アンプとスピーカーの接続については、AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

本体背面部



本機のデジタル音声出力端子から出力できる音声について

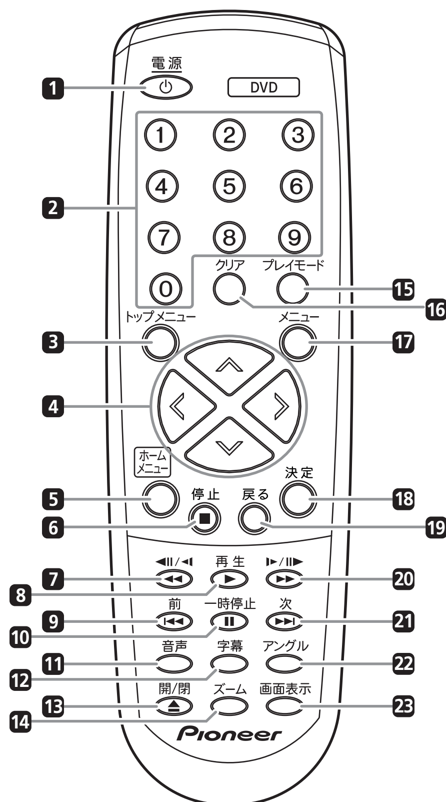
- 44.1 kHz 〜 96 kHz、16 bit/20 bit/24 bit の 2 チャンネルリニア PCM 音声（2 チャンネルダウンミックスを含む）
- ドルビーデジタル 5.1 チャンネル音声
- DTS 5.1 チャンネル音声
- MPEG 音声



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

各部の名前とはたらき

リモコン



1 ⏻ 電源
電源をオンまたはオフします。

2 数字（0 ～ 9）ボタン
見たい /聞きたいタイトル、チャプター、トラック、またはファイルを指定して再生するときに使います。また、メニュー画面で項目を選ぶときなどにも使います。

3 トップメニュー
DVD ビデオのトップメニュー画面を表示します。

4 ∧ / ∨ / ＜ / ＞
項目を選ぶまたは設定を変更するときに使います。また、カーソルを移動します。

5 ホームメニュー
ホームメニューを表示または終了します。



- **音場設定** (10 ページ)
- **画質調整** (10 ページ)
- **プレイモード** (7 ページの「**プレイモード**」)
- **ディスクナビゲーター** (7 ページの「**メニュー**」)
- **初期設定** (10 ページ)

6 ■ 停止
再生中に ■ **停止**ボタンを押すと停止した場所を記憶します。► **再生**ボタンを押すと、停止した場所から再生します。

7 ◄◄/◄II/◄I
- 再生中に押すと、早戻しします。
- 一時停止中に押すと、コマ戻しします。
- 一時停止中に押し続けると、逆方向にスロー再生します。

8 ► 再生
再生を始めます。

9 I◄◄ 前
再生中のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルの先頭に戻ります。2 回続けて押すと、1 つ前に戻ります。

10 II 一時停止
再生を一時停止します。もう一度押すと再開します。

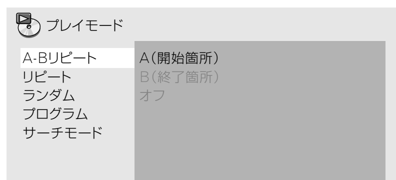
11 音声
複数の音声が収録されているディスクまたはファイルでは、再生中に音声を切り換えられます。

12 字幕
複数の字幕が収録されている DVD ビデオでは、再生中に字幕を切り換えられます。

13 ▲ 開 /閉
ディスクトレイを開閉します。

14 ズーム
映像（画像）を拡大します。

15 プレイモード
プレイモード画面を表示または終了します。



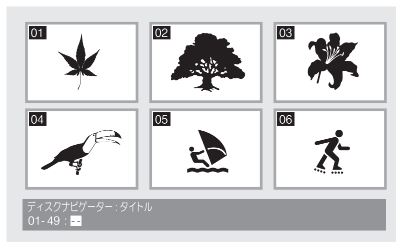
- **A-B リピート**
  1 つのタイトルまたはトラック内の指定した箇所を繰り返し再生します。
- **リピート**
  タイトル、チャプター、トラック、またはディスク全体 (音楽 CD およびビデオ CD のとき) を繰り返し再生します。
- **ランダム**
  タイトル、チャプター、またはトラックを順不同に再生します。
- **プログラム** (9 ページ)
  タイトル、チャプター、トラック、またはファイルを、お好みの順番に並べ換えて再生します。
- **サーチモード**
  タイトル、チャプター、またはトラックの番号や時間を指定して再生します。

プレイモード機能が働かないディスクまたはファイルもあります。
リピートモードは再生中のみ設定できます。

16 クリア
選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使います。

17 メニュー
- メニュー画面またはディスクナビゲーターを表示します。
- ディスクナビゲーターから、タイトル、チャプター、トラックまたはファイルを選んで再生します。

例：DVD ビデオのディスクナビゲーター



18 決定
選んだ項目を実行する、または変更した設定を確定するときなどに使います。

19 戻る
1 つ前の画面に戻ります。

20 ►►/I► /II►
- 再生中に押すと、早送りします。
- 一時停止中に押すと、コマ送りします。
- 一時停止中に押し続けると、スロー再生します。

21 ►►I 次
再生中に押すと、次のタイトル、チャプター、トラック、またはファイルの先頭に進みます。

22 アングル
複数のアングルが収録されている DVD ビデオでは、再生中にアングルを切り換えられます。
また、音楽 CD の再生中にリピートモードを設定できます。2 秒以上押すたびに、ディスクリピートとトラックリピートが切り換わります。

23 画面表示
経過時間や残量などが表示されます。

再生する

ディスクまたはファイルを再生する

1　本機の電源をオンにする

⏻ 電源ボタンを押します。

2　ディスクトレイを開ける

▲ 開 / 閉ボタンを押します。

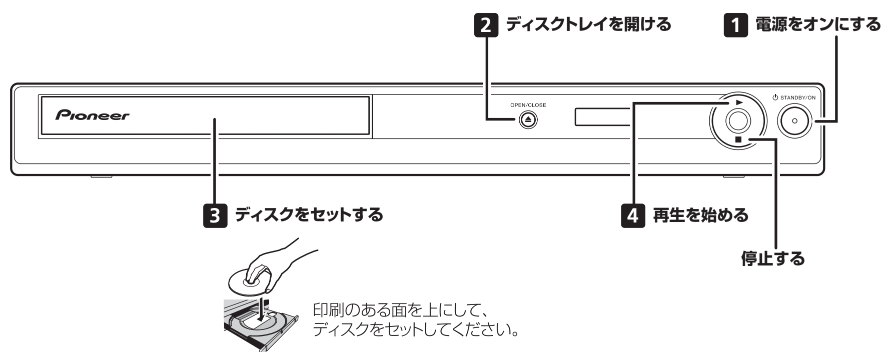
3　ディスクをセットする

4　再生を始める

► 再生ボタンを押します。

- 停止するには、再生中に ■ 停止ボタンを押します。

本体前面部の操作



- あらかじめテレビの電源をオンにして、テレビの入力を切り換えてください。
- 本機の画面表示言語を変更できます (11 ページの「画面表示言語」)。

注意

製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

本体表示窓の表示例

電源をオンにしたとき (ON)



電源をオフにしたとき (OFF)



ディスクトレイを開けたとき (OPEN)



ディスクトレイを閉じたとき (CLOSE)



ディスクを読み込んでいるとき (LOAD)



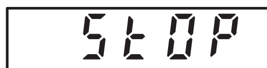
タイトルメニューまたはメニューを表示しているとき (TITLE)



GUI を表示または操作しているとき (GUI)



ディスクが停止しているとき (STOP)



ディスクがセットされていないとき



お好みの順に再生する（プログラム再生）

DVD-Video　Video CD　CD(R/RW)　MP3

1　プレイモード画面を表示する

プレイモードボタンを押します。

2　プログラムを選ぶ

∧ / ∨ ボタンで選んで、**決定**ボタンまたは〉ボタンを押します。

3　プログラム入力・編集を選ぶ

∧ / ∨ ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

- プログラム入力・編集画面は、ディスクまたはファイルによって異なります。

4　再生したいタイトル、チャプター、トラック、またはファイルを選ぶ

∧ / ∨ / 〈 / 〉ボタンで選んで、**決定**ボタンを押します。

プログラム

プログラムステップ	タイトル 1-01	チャプター 1-15
01.	タイトル 01	チャプター 001
02.		チャプター 002
03.		チャプター 003
04.		チャプター 004
05.		チャプター 005
06.		チャプター 006
07.		チャプター 007
08.		チャプター 008

- プログラムを追加するには、追加する位置（プログラムステップ）を選んでから、タイトル、チャプター、またはトラックを選んで、**決定**ボタンを押します（ファイルのときは、一番下に追加されます）。
- 1 つ前の画面に戻るには、**戻る**ボタンを押します。入力中に戻ると、プログラムした内容は削除されます。
- プログラムを削除するには、削除したいプログラムステップを選んで、**クリア**ボタンを押します。

5　再生を始める

▶ **再生**ボタンを押します。

- すでにプログラムされている内容を再生するには、プログラム画面から**プログラム再生の開始**を選んで、**決定**ボタンを押します。
- 通常の再生に戻すには、プログラム画面から**プログラム再生の解除**を選んで、**決定**ボタンを押します。プログラムした内容は残ります。
- プログラムした内容をすべて消去するには、プログラム画面から**プログラムの全消去**を選んで、**決定**ボタンを押します。

メモ

- プログラムした内容を繰り返し再生できます。プログラム再生中にプレイモード画面の**リピート**から**プログラムリピート**を選びます。
- プログラムした内容は、順不同には再生できません（プログラム再生中は、ランダム再生できません）。

設定を変更する

斜体字はお買い上げ時の設定です。

音場設定の項目

設定項目（設定値）	
サウンドレトリバー（大 / 小 / ***オフ***）	• MP3 音声を高音質で再生します。拡張子 '.mp3' が付いているファイルにだけ有効です。 • 設定を切り換えて、良い効果が得られる設定を選んでください。
イコライザー（***オフ*** / ロック / ポップ / ライブ / ダンス / テクノ / クラシック / ソフト）	聞く音楽のジャンルに合わせて選んでください。
オーディオ DRC（大 / 中 / 小 / ***オフ***）	• 大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生します。たとえば、深夜に映画を見るときに変更します。 • ドルビーデジタル音声にだけ効果があります。 • 接続しているテレビ、AV アンプ、またはスピーカーの音量などによって効果が異なります。切り換えながら最も効果のある設定に変更してください。
ダイアローグ（大 / 中 / 小 / ***オフ***）	セリフの音が小さくて聴き取りにくいときに変更します。

サウンドレトリバーについて

• 音声データは圧縮される過程で音質が低下します。サウンドレトリバー機能は、自動で圧縮された音声の音質を向上して、CD 並みの音質を再現します。

画質調整の項目

設定項目（設定値）	
シャープネス（ファイン / ***標準*** / ソフト）	画像の鮮明度を調整します。
ブライトネス（－ 20 ～ +20）	画面の明るさを調整します。
コントラスト（－ 16 ～ +16）	最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ガンマ（－ 3 ～ +3）	画像の暗い部分の見えかたを強調します。
色あい（緑 9 ～赤 9）	緑色と赤色のバランスを調整します。
色の濃さ（－ 9 ～ +9）	色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

ブライトネス、コントラスト、ガンマ、色あい、および色の濃さのお買い上げ時の設定は ***0*** です。

初期設定の項目

• 本機の詳細な設定ができます。
• 再生中は**初期設定**を選べません。ディスクを停止してから操作してください。

初期設定

デジタル音声出力	デジタル出力	▶ オン
映像出力	DD Digital出力	▶ DD Digital
言語	DTS出力	▶ DTS
表示	96kHz PCM出力	▶ 96kHz > 48kHz
オプション	MPEG出力	▶ MPEG > PCM

デジタル音声出力の設定

設定項目	設定内容
デジタル出力	**デジタル音声出力（同軸）**端子からデジタル音声を出力する（***オン***）または出力しない（オフ）を選べます。
DD Digital 出力	接続している AV アンプなどに合わせて、ドルビーデジタル音声を出力する（DD ***Digital***）またはドルビーデジタル音声をリニア PCM に変換して出力する（DD Digital > PCM）を選べます。
DTS 出力	接続している AV アンプなどに合わせて、DTS 音声を出力する（***DTS***）または DTS 音声を出力しない（オフ）を選べます。
96kHz PCM 出力	接続している AV アンプなどに合わせて、96 kHz 音声を出力する（96kHz）または 96 kHz 音声をリニア PCM に変換して出力する（***96kHz > 48kHz***）を選べます。
MPEG 出力	接続している AV アンプなどに合わせて、MPEG 音声を出力する（MPEG）または MPEG 音声をリニア PCM に変換して出力する（***MPEG > PCM***）を選べます。

映像出力の設定

設定項目	設定内容
テレビ画面	接続しているテレビに合わせて、映像の表示方式（***4:3（レターボックス）***/4:3（パンスキャン）/16:9（ワイド））を変更できます。
コンポーネント出力	**コンポーネント映像出力**端子から出力する映像の出力方式（プログレッシブ / ***インターレース***）を変更できます。

言語の設定

設定項目	設定内容
音声言語	DVD ビデオの音声を聞くときの言語 (***日本語*** /英語 /その他の言語) を変更できます。
字幕言語	DVD ビデオの字幕を表示するときの言語 (***日本語*** /英語 /その他の言語) を変更できます。
DVD メニュー言語	DVD ビデオのメニュー画面を表示するときの言語 (***字幕言語に連動*** /日本語 /英語 /その他の言語) を変更できます。
字幕表示	字幕を表示する (***オン***) または表示しない (オフ) を選べます。

表示の設定

設定項目	設定内容
画面表示言語	テレビ画面に表示する操作表示 (再生、停止など) の言語 (***日本語*** /English) を変更できます。
アングルマーク表示	テレビ画面にアングルマークを表示する (***オン***) または表示しない (オフ) を選べます。
画面表示	テレビ画面に表示する操作表示 (再生、停止など) を表示する (***オン***) または表示しない (オフ) を選べます。

オプションの設定

設定項目	設定内容
視聴制限	DVD ビデオの視聴を制限できます (暗証番号 /レベル変更 /国コード)。
オートパワーオフ	自動で電源をオフにする（***オン***）またはオフにしない（オフ）を選べます。***オン***に設定したときは、30 分以上何も操作しないと自動で電源がオフになります。

すべての設定をお買い上げ時の状態に戻す

1　本機の電源をオフにする

⏻ 電源ボタンを押します。

2　■ ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ON ボタンを押す

本体前面部のボタンで操作します。

再生できるディスク / ファイル

再生できるディスク

DVD-Video	• 市販の DVD ビデオ • ビデオモードで記録されている DVD-R/-RW/-R DL、および DVD+R/+RW/+R DL
DVD VR	VR モードで記録されている DVD-R/-RW/-R DL
Video CD	ビデオ CD
CD(R/RW)	• 市販の音楽 CD • CD-DA フォーマットで音楽が記録されている CD-R/-RW/-ROM
JPEG	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM に記録されている JPEG ファイル
MP3	DVD-R/-RW/-R DL、CD-R/-RW/-ROM に記録されている MP3 ファイル
FUJICOLOR-CD	
コダックピクチャー CD	

- **DVD-R/-RW/+R/+RW や CD-R/-RW などの記録メディアは、ファイナライズされているもののみ再生できます。ファイナライズやその方法については、ご使用の録画・録音機器の取扱説明書をご覧ください。（本機ではファイナライズできません）**
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- 本機は NTSC 方式に適合しています。ディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに「NTSC」と表記されているディスクを再生できます。また、PAL 方式のディスクは NTSC 方式に変換して再生します。
- マルチセッションおよびマルチボーダーには対応していません。
- マルチセッション /マルチボーダーとは、1 枚のディスクに２つ以上のセッション /ボーダーデータを記録する方法です。ディスクにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッション /ボーダーといいます。
- DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- は富士フイルム株式会社の商標です。
- 記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- RW COMPATIBLE
  この表示は VR フォーマット (ビデオレコーディングフォ ーマット) 記録された DVD-RW が再生できる機能を示します。ただし、1 回だけ録画可能な番組を記録したディスクは、CPRM 対応機器で再生が可能です。
- 本機は CPRM に対応しています。

再生できないディスク

- ブルーレイディスク (BD)
- HD DVD
- AVCHD
- AVCREC
- DVD オーディオ
- DVD-RAM
- SACD
- CD-G

リージョンナンバー（地域番号）について

DVD プレーヤーと DVD ビデオには、販売地域ごとにリージョンナンバーが設定されています。本機のリージョンナンバーは下記のとおりです。
- DVD ビデオ：2

この番号が含まれていないディスクは再生できません。本機で再生できるディスクは下記のとおりです。
- DVD：2(2 を含む)、ALL

コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDisc の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です (DVD オーディオは除く)。
- DVD 面ではない、オーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」を再生機器に挿入をしたり、取り出しをしたりするときに再生面の反対側の面に傷がつく場合があります。傷がついた面は再生すると不具合が出る場合があります。
- なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

パソコンや BD/DVD レコーダーで作成した ディスクの再生について

- アプリケーションの設定、および環境によって、パソコンで記録したディスクは再生できないことがあります。
- ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくない場合、再生できないことがあります。

再生できるファイル

- ISO9660 レベル 1/レベル 2 の CD-ROM ファイルシステムおよび拡張フォーマット（Joliet/Romeo）に準拠して記録されたディスクだけ再生できます。
- DRM(デジタル著作権管理) で保護されているファイルは再生できません。
- フォルダ名は 1 枚のディスクで最大 299 フォルダまで認識できます。ファイル名は 1 フォルダ内に最大 648 ファイルまで認識できます。ただし、フォルダの構成によってはフォルダまたはファイルを認識できないことがあります。
- フォルダ名およびファイル名を表示できます。ただし、半角英数字以外の文字は表示できません。半角英数字以外で入力されているフォルダ名またはファイル名は、**F_001** または **FL_001** などに置き換えて表示されることがあります。また、文字化けして表示されることもあります。
- 下記以外のファイル (DivX、WMV、WMA および MPEG4-AAC など) の再生は保証できません。

画像ファイルの対応フォーマット

JPEG

- 解像度：3 072 x 2 048 ピクセルまで
- 拡張子「.jpg」、「.JPG」、「.jpeg」または「.JPEG」
- ベースライン JPEG に対応しています。
- Exif Ver.2.2 に対応しています。
- プログレッシブ JPEG には対応していません。
- 縦横比が異なる JPEG ファイルを再生したときは、画像の縦または横に黒い帯を付けて表示することがあります。

音声ファイルの対応フォーマット

- VBR(Variable Bit Rate) には対応していません。
- ロスレスエンコーディングには対応していません。

MPEG-1 オーディオレイヤー 3(MP3)

- サンプリング周波数：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
- ビットレートは 128 kbps 以上をおすすめします。
- 拡張子「.mp3」または「.MP3」

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、15 ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常に動作することがあります。
- 弊社ホームページにも本機の取り扱いについての Q&A を掲載していますので、あわせてご覧ください。
http://pioneer.jp/support/product/dvdld.html

一般

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
ディスクが再生できない、またはディスクトレイが自動で開く。	本機で再生できるディスクですか？	本機で再生できるディスクか確認してください。(11 ページ)
	ディスクに傷がついていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクの汚れを拭き取ってください。(16ページ)
	ディスクがディスクトレイに正しくセットされていますか？	印刷面を上にしてセットしてください。
		ディスクトレイの枠内に正しくセットしてください。
	リージョンナンバーは正しいですか？	本機で再生できるリージョンナンバーは、「2（2 を含む）」または「ALL」です。
	湿気の多い場所に設置していませんか？	内部が結露している可能性があります。結露が消えるまでお待ちください。なお、エアコンなどの近くに設置しないでください。（15 ページ）
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているときに電源コードを強制的に抜いていませんか？	電源コードは、必ず本体前面部の ⏻ **STANDBY/ON** ボタン、またはリモコンの ⏻ **電源** ボタンを押して、本体表示窓の **OFF** が消えてから抜いてください。
DVD と CD で音量差を感じる。	本機の不具合ではありません。	ディスクの記録方式の違いにより音量差を感じることがあります。
リモコンで操作できない。	本機から離れた場所で操作していませんか？	リモコン受光部との距離が 7 m の範囲で操作してください。
	リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たっていませんか？	リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの強い光が当たると、リモコンの信号を受けにくくなることがあります。
	電池がなくなっていませんか？	電池を交換してください。（4 ページ）
電源が自動でオフになる	**オートパワーオフ**が***オン***に設定されていませんか？	**オートパワーオフ**が***オン***に設定されているときは、30 分以上何も操作しないと本機の電源が自動でオフになります。（11 ページ）
映像が伸びている、または縦横比が切り換えられない。	接続しているテレビの縦横比は正しく設定されていますか？	テレビの取扱説明書をご覧になり、テレビの縦横比を正しく設定してください。
	テレビ画面は正しく設定されていますか？	**テレビ画面**を正しく設定してください。（10 ページ）
再生中に映像が乱れる、または映像が暗い。	ディスクが汚れていませんか？	ディスクの汚れを拭き取ってください。(16ページ)
	ディスクに傷がついていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。
	本機の不具合ではありません。	本機はロヴィコーポレーションのコピープロテクトに対応しています。テレビによっては、コピー禁止信号が記録されているディスクを再生したときに正しく映らないことがあります。これは故障ではありません。
	本機とテレビをビデオデッキを経由して接続していませんか？	ビデオデッキなどを経由して本機とテレビを接続したときは、本機のアナログコピープロテクトによってビデオデッキで再生した映像が正しく映りません。本機とテレビは直接接続してください。
デジタル音声出力（同軸）端子からデジタル音声が出力されない。	**デジタル出力**は***オン***に設定されていますか？	**デジタル音声出力（同軸）**端子を接続しているときは、**デジタル出力**を***オン***に設定してください。（10 ページ）

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
デジタル音声出力(同軸)端子から 96 kHz/88.2 kHz のデジタル音声が出力されない。	96kHz PCM 出力が 96kHz に設定されていませんか？	96kHz PCM 出力を ***96kHz > 48kHz*** に設定してください。
	著作権保護されているディスクを再生していませんか？	著作権が保護されているディスクの 96 kHz/88.2 kHz のデジタル音声は出力できません。
フォルダ名またはファイル名が認識されない。	本機が認識できるフォルダ名またはファイル名の最大数を超えていませんか？	フォルダ名は 1 枚のディスクで最大 299 フォルダまで認識できます。ファイル名は 1 フォルダ内に最大 648 ファイルまで認識できます。ただし、フォルダの構成によってはフォルダまたはファイルを認識できないことがあります。
JPEG ファイルの再生に時間がかかる。	容量が大きいファイルを再生していませんか？	容量が大きいファイルは再生するまでに時間がかかることがあります。
JPEG ファイルを再生すると、黒い帯が付いて表示される。	縦横比の異なるファイルを再生していませんか？	縦横比が異なる JPEG ファイルを再生したときは、画像の縦または横に黒い帯を付けて表示することがあります。

言語および国 /地域コード表

言語コード表

言語名（言語コード）、入力コード

Japanese (ja) , **1001**
English (en) , **0514**
French (fr) , **0618**
German (de) , **0405**
Italian (it) , **0920**
Spanish (es) , **0519**
Chinese (zh) , **2608**
Dutch (nl) , **1412**
Portuguese (pt) , **1620**
Swedish (sv) , **1922**
Russian (ru) , **1821**
Korean (ko) , **1115**
Greek (el) , **0512**
Afar (aa) , **0101**
Abkhazian (ab) , **0102**
Afrikaans (af) , **0106**
Amharic (am) , **0113**
Arabic (ar) , **0118**
Assamese (as) , **0119**
Aymara (ay) , **0125**
Azerbaijani (az) , **0126**
Bashkir (ba) , **0201**
Byelorussian (be) , **0205**
Bulgarian (bg) , **0207**
Bihari (bh) , **0208**
Bislama (bi) , **0209**
Bengali (bn) , **0214**
Tibetan (bo) , **0215**
Breton (br) , **0218**
Catalan (ca) , **0301**
Corsican (co) , **0315**
Czech (cs) , **0319**
Welsh (cy) , **0325**
Danish (da) , **0401**
Bhutani (dz) , **0426**
Esperanto (eo) , **0515**
Estonian (et) , **0520**
Basque (eu) , **0521**
Persian (fa) , **0601**
Finnish (fi) , **0609**
Fiji (fj) , **0610**
Faroese (fo) , **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga) , **0701**
Scots-Gaelic (gd) , **0704**
Galician (gl) , **0712**
Guarani (gn) , **0714**
Gujarati (gu) , **0721**
Hausa (ha) , **0801**
Hindi (hi) , **0809**
Croatian (hr) , **0818**
Hungarian (hu) , **0821**
Armenian (hy) , **0825**
Interlingua (ia) , **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik) , **0911**
Indonesian (in) , **0914**
Icelandic (is) , **0919**
Hebrew (iw) , **0923**
Yiddish (ji) , **1009**
Javanese (jw) , **1023**
Georgian (ka) , **1101**
Kazakh (kk) , **1111**
Greenlandic (kl) , **1112**
Cambodian (km) , **1113**
Kannada (kn) , **1114**
Kashmiri (ks) , **1119**
Kurdish (ku) , **1121**
Kirghiz (ky) , **1125**
Latin (la) , **1201**
Lingala (ln) , **1214**
Laothian (lo) , **1215**
Lithuanian (lt) , **1220**
Latvian (lv) , **1222**
Malagasy (mg) , **1307**
Maori (mi) , **1309**
Macedonian (mk) , **1311**
Malayalam (ml) , **1312**
Mongolian (mn) , **1314**
Moldavian (mo) , **1315**
Marathi (mr) , **1318**
Malay (ms) , **1319**
Maltese (mt) , **1320**
Burmese (my) , **1325**
Nauru (na) , **1401**
Nepali (ne) , **1405**
Norwegian (no) , **1415**
Occitan (oc) , **1503**
Oromo (om) , **1513**
Oriya (or) , **1518**
Panjabi (pa) , **1601**
Polish (pl) , **1612**
Pashto, Pushto (ps) , **1619**
Quechua (qu) , **1721**
Rhaeto-Romance (rm) , **1813**
Kirundi (rn) , **1814**
Romanian (ro) , **1815**
Kinyarwanda (rw) , **1823**
Sanskrit (sa) , **1901**
Sindhi (sd) , **1904**
Sangho (sg) , **1907**
Serbo-Croatian (sh) , **1908**
Sinhalese (si) , **1909**
Slovak (sk) , **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn) , **1914**
Somali (so) , **1915**
Albanian (sq) , **1917**
Serbian (sr) , **1918**
Siswati (ss) , **1919**
Sesotho (st) , **1920**
Sundanese (su) , **1921**
Swahili (sw) , **1923**
Tamil (ta) , **2001**
Telugu (te) , **2005**
Tajik (tg) , **2007**
Thai (th) , **2008**
Tigrinya (ti) , **2009**
Turkmen (tk) , **2011**
Tagalog (tl) , **2012**
Setswana (tn) , **2014**
Tonga (to) , **2015**
Turkish (tr) , **2018**
Tsonga (ts) , **2019**
Tatar (tt) , **2020**
Twi (tw) , **2023**
Ukrainian (uk) , **2111**
Urdu (ur) , **2118**
Uzbek (uz) , **2126**
Vietnamese (vi) , **2209**
Volapük (vo) , **2215**
Wolof (wo) , **2315**
Xhosa (xh) , **2408**
Yoruba (yo) , **2515**
Zulu (zu) , **2621**

国 / 地域コード表

国 /地域名、入力コード、および国 /地域コード

アメリカ , **2119**, us
アルゼンチン , **0118**, ar
イギリス , **0702**, gb
イタリア , **0920**, it
インド , **0914**, in
インドネシア , **0904**, id
オーストラリア , **0121**, au
オーストリア , **0120**, at
オランダ , **1412**, nl
カナダ , **0301**, ca
韓国 , **1118**, kr
シンガポール , **1907**, sg
スイス , **0308**, ch
スウェーデン , **1905**, se
スペイン , **0519**, es
タイ , **2008**, th
台湾 , **2023**, tw
中国 , **0314**, cn
チリ , **0312**, cl
デンマーク , **0411**, dk
ドイツ , **0405**, de
日本 , **1016**, jp
ニュージーランド , **1426**, nz
ノルウェー , **1415**, no
パキスタン , **1611**, pk
フィリピン , **1608**, ph
フィンランド , **0609**, fi
メキシコ , **1324**, mx
ロシア , **1821**, ru
ブラジル , **0218**, br
フランス , **0618**, fr
ベルギー , **0205**, be
ポルトガル , **1620**, pt
香港 , **0811**, hk
マレーシア , **1325**, my

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

裏表紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご連絡ください。本品は持ち込み修理対応製品です。故障して修理をお受けになる場合は、修理受付窓口またはお買い求めの販売店に製品と保証書を持参してお申し付けください。なお、お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張修理代、または宅配便による引き取り回収修理の送料は、有料とさせていただきます。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：DVD プレーヤー
- 型番：DV-2020
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

本機を移動するとき

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出して、ディスクトレイを閉じてください。さらに本体の ⏻ STANDBY/ON ボタン（またはリモコンの ⏻ 電源ボタン）を押し、本体表示窓の OFF 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。また、カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光の当たる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ほこりやタバコの煙の多い所
- 油煙、蒸気、熱が当たる所（台所など）

上に物を載せない

本機の上に物を載せないでください。

通気孔をふさがない

毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり、本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合は、アンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機の使用環境について

本機の使用環境温度範囲は 5 ゜C ～ 35 ゜C、使用環境湿度は 85 %以下 (通風孔が妨げられていないこと) です。風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。



注意

本機を設置する場合には、壁から 10 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすき間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機は一般家庭用機器として作られたものです。一般家庭用以外（例えば飲食店等での営業用の長時間使用、車輌、船舶への搭載使用）で使用し、故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

本機を使わないときは電源を切る

本機の電源がオンのときに、電波の状態によってはテレビ画面にしま模様が出たり、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。このようなときは本機の電源を切ってください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ～ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

製品のお手入れについて

- お手入れするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本体は柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、水で 5 ～ 6 倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがあります。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせるとキャビネットを傷めます。
- 化学ぞうきんなどを使うときは、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよく読んでください。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの ▲ 開 /閉ボタンを押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因になります。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、お近くのパイオニアサービスセンターに清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

著作権について

本機は、ロヴィコーポレーションの米国特許および他の知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

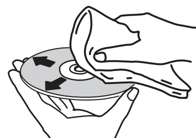
ディスクの取り扱いかた

保管

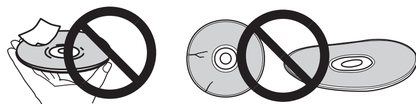
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やほこりが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク (ひびやそりのあるディスク) は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

用語解説

DRM（Digital Rights Management）
デジタルデータの著作権を保護する技術です。デジタル化された動画、画像、または音声などの品質は、複製や送受信の繰り返しによって劣化しません。このようなデジタルデータを著作者の許諾なしで流通や再生することを制限するための技術です。

Exif（Exchangeable Image File Format）
富士フイルム株式会社が開発した、デジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです。撮影や画像に関する情報（撮影日など）とサムネイル画像が収録されています。

MPEG（Moving Picture Experts Group）
デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。動画の規格には、MPEG-1Video・MPEG-2 Video・MPEG-4 Visual・MPEG-4AVCなどがあります。音声の規格には、MPEG-1 Audio・MPEG-2 Audio・MPEG-2 AAC などがあります。

インターレーススキャン（飛び越し走査）
映像の 1 画面を 2 回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、次に偶数番目の走査線を描いて 1 画面（フレーム）を表示します。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「i」を付けて（480i など）表記してあります。

サウンドレトリバー
MP3 の音声ファイルを圧縮したときに失われた音を補完する音質補正技術です。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、音声レベルの最大値と最小値の差のことです。ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する (オーディオ DRC) と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオ CD（バージョン 2.0）に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 /標準解像度の静止画も楽しめます。

プログレッシブスキャン（順次走査）
映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。本機の取扱説明書では解像度の数字の後ろに「p」を付けて (480p など) 表記してあります。

マルチセッション
マルチセッション /マルチボーダーとは、1 枚のディスクに 2 つ以上のセッション /ボーダーデータを記録する方法です。ディスクにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッション /ボーダーといいます。

リニア PCM
圧縮しない音声信号です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオによく使用されます。
48 kHz/16 bit、96 kHz などの表示があることもあります。

仕様

電源 .... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 6 W
待機時消費電力 .... 0.5 W
本体質量 .... 1.2 kg
外形寸法
.... 360 mm（幅）× 42 mm（高さ）× 200 mm（奥行）
許容動作温度 .... + 5 ° C ～+ 35 ° C
許容動作湿度 .... 5 %～ 85 %（結露のないこと）

映像出力

出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

コンポーネント映像出力（Y, CB/PB, CR/PR）

Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル .... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

音声出力（ステレオ左 /右）

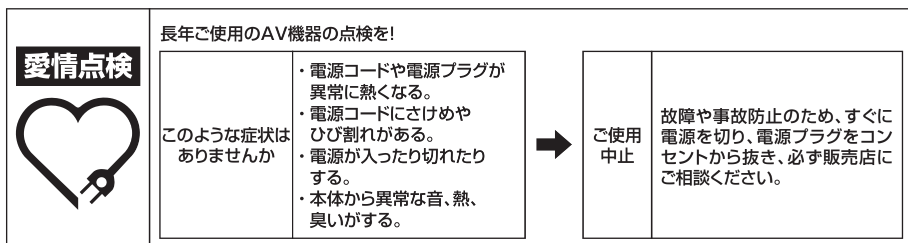
音声出力レベル ...... 200 mVrms（1 kHz、－ 20 dB）
出力端子 .... RCA 端子
周波数特性 .... 4 Hz ～ 44 kHz

デジタル音声出力

同軸デジタル出力 .... RCA 端子

 **メモ**

- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機では、画面表示に NEC のフォント「FontAvenue」を使用しています。FontAvenue は NEC の登録商標です。



K026*_A1_Ja

サービス拠点のご案内　※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

サービス拠点への電話は、修理受付窓口でお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービス認定店）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付窓口にご確認ください。

●北海道地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆北海道サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区　受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆東北サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内　受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX　03-5357-0770	〒156-0055	世田谷区船橋5-28-6　吉崎ビル1F
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東･甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆千葉サービスステーション	FAX	047-773-9354	〒275-0016	習志野市津田沼3-20-22
☆北関東サービスセンター	FAX	048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
水戸サービス認定店	FAX	029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
宇都宮サービス認定店	FAX	028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX	0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX	025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX	0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX	045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX	045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX	046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX	04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX	0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX	026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX	055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中部サービスセンター	FAX	052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX	0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX	059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX	058-274-5256	〒500-8384	岐阜市薮田南4-2-10
静岡サービス認定店	FAX	054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX	055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX	053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX	076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX	076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX	0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0014	和歌山市毛見1126-4
京都サービス認定店	FAX	075-644-7975	〒601-8444	京都市南区西九条森本町4　イッツアイランド1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-50-0889	〒630-8141	奈良市南京終町1-174-2
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国･四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX	082-534-5859	〒733-0003	広島市西区三篠町2-4-22 NKビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-250-2724	〒700-0975	岡山市北区今3-10-10　備前ビル1F
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービス認定店	FAX	087-813-6112	〒760-0080	高松市木太町862-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階107号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-1-9　ヤマエ博多駅南ビル1F
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒861-2118	熊本市花立4-9-31
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービス認定店	TEL	098-987-1120	〒902-0073	那覇市上間413　琉電アパート1-5
	FAX	098-987-1121		

平成23年4月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

その他

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
「0120」で始まるフリーコールおよびフリーコールは、携帯電話・PHSなどからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品　フリーコール 0120−944−222　一般電話　044−572−8102

■ファックス　044−572−8103

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内 ※番号をよくお確かめの上でおかけいただきますようお願いいたします

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付窓口

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81028（ゴーハイオニア）　一般電話　044−572−8100

■ファックス　フリーコール 0120−5−81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair/
※家庭用オーディオ/ビジュアル商品はインターネットによる修理のお申し込みを受付けております

沖縄サービス認定店（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098−987−1120

■ファックス　098−987−1121

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～17:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話　フリーコール 0120−5−81095　一般電話　044−572−8107

■ファックス　フリーコール 0120−5−81096

平成23年4月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.044



J2P00701A SH Ⓚ00/00

パイオニア株式会社　〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1番1号